

2023 てきた学びのスタンダード

この「スタンダード」は、画一的な授業を目指すものではなく、先生方で「てきた子どもたち」の課題を共有し、目指す子ども像を実現できるような授業作りの手助けとするためのものです。完成版ではなく先生方の経験や研修を通して、職員みんなで改善しながら、より良いものにしていければと考えています。

安心・安全のある授業作り

子どもたちが安心して、集中して学習に取り組める環境を整備し、子どもを学びから疎外しない授業作り

企画(研推)

★授業規律の徹底

→セルフチェックシートを活用 ※低中高で見直し(発表の方法など)

→生活指導部「学習のきまり」掲示

★板書の構造化

→学習の流れや内容がパッと見てわかる板書

→「めあて」④ 「自分の考え」⑤ 「まとめ」⑥ などの提示

★ハンドサインの活用 ※低高で見直し(2~3こ統一するなど検討)

★子どもに伝わる指示の工夫

→具体的で明確な行動・順番・量・時間等の指示

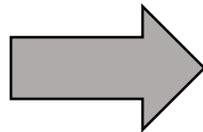
→子どもの会話や活動を止めてから指示を出す

→同時に複数のことを指示しない

★机上やロッカーの整理整頓など

→生活指導部「共通理解事項」参照

- ・次年度以降、教科部に位置付ける(研究推進と連携)
- ・教科部と連携し、必要な掲示物などを作成する
- ・教科を絞り実践する(成果をふまえて他教科に広げる)



教科部会

学び合える授業

子どもたちが、安心できる集団の中で、お互いの意見や考えを知ること、理解や考えを深め、それらを共有することで新たな考えや学びの深まりにつながる授業

★「わからない」と言える学習集団作り

★「話し方」「聞き方」を基にしたコミュニケーション能力の育成 → 系統表のクラス掲示

★「教える・説明すること」の学習効果を意識したペアやグループ学習、全体交流の設定

★タブレットやホワイトボードなど共有ツールの効果的な活用

→「ホワイトボードの書き方」掲示 ※系統性を意識し、低中高で検討

★「対話」のスキルの育成 → スキル表の掲示

★ペアワークやグループワークの目的や内容の明確化

今年度の研究テーマ

企画(研推)

< 目指す子ども像 >

★自主的に考え、最後まで

粘り強く取り組む子ども★

★友だちの気持ちを考え、

互いに認め合う子ども★

★自分を大切にすることも★

～てきたの自主学习～

☆児童の実態に合った取り組み

☆系統性を意識した取り組み

☆児童・担任の負担にならない取り組み

→メニュー表の提示

→書き方の指導

→意欲につながる働きかけ

見通しが持てる授業作り

子どもが「この授業で何をどのように学び、何ができ、分かるようになるのか」が分かる授業作り

★授業の流れのフレームデザイン

大枠を決め、各教科の特性に応じて効果的な流れを設定する

★学習時間や学習内容の明確化・焦点化

→いつ、どこで、何を、誰と、どのように、どれくらい

★「めあて」の提示 ※1時間の授業の目標、道しるべ

★「めあて」に対する手立て、指示や発問の工夫

★「まとめ」「振り返り活動」の設定

・「めあて」に対する学習内容の「まとめ」

・学習内容を自分なりに表現する「振り返り活動」

発展

「めあて・対話・振り返り」がある授業

「めあて」の提示、「対話」の設定、「まとめ・振り返り活動」の設定を意識した授業

★1時間の授業や、1つの単元において、子どもたちが課題解決のために「めあて」

を立て、見通しをもって主体的に学べる授業

★他者との「対話」による、創造的、協働的な学びがある授業

★自分がどのように学び、どのような変容があったかを捉えることができる授業

- ・課題解決に向け、見通しを持たせる
- ・まとめや振り返り活動の設定